

## 2022年度関西女子学生バスケットボール連盟主催の 大会における新型コロナウイルス感染症 感染対策 (感染予防・感染防止) としての実施計画書

発行：関西女子学生バスケットボール連盟  
緊急連絡先：関西女子学生バスケットボール連盟  
電話 06-6363-2015  
E-mail kwiba.baske@gmail.com  
携帯電話 080-4025-3064 学生委員長

# 大会開催にあたっての基本方針

---

## ■ 2022年度大会開催にあたっての基本方針

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応方針として、主催者として「ガイドライン」を定め、その内容を周知し、感染防止策を実行いたします。

新しい生活様式に準じて、各自が新型コロナウイルス感染防止に努め、感染予防を意識し対応することとします。

主催者としては、**学生の安心、安全を最優先して**大会を運営することとします。

原則、大学体育館では**無観客として開催**し、チーム関係者、大会関係者（役員・審判員）が入館することとし、その他の方は入館させないこととします。

大会参加にあたっては、参加同意書の提出を求め、試合ごとに健康チェックシートの提出を求めます。

新型コロナウイルスの感染状況や大会開催時に感染が確認され、大会の継続が困難と判断した場合には直ちに大会開催を中断し、開催中止も審議いたします。

感染予防対策・安全対策体制を構築するとともに、大会開催にあたってのガイドラインと本実施計画書に沿って、大会を開催いたします。

原則として、公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA)「活動再開に向けたガイドライン」に基づき、また、各チームが所属する大学の指示にしたがい、対応いたします。

# 事前準備について

---

## 主催者としての対応

### 1. 健康チェックシートの管理

#### ① チーム関係者

大会開催直前2週間の体温を計測し体調を記載した健康チェックシートの提出を求める。

当日の健康チェックシートの提出を求める

#### ② 大会役員関係者

主催者大会役員（学連学生委員・学連役員）、審判員に健康チェックシートの提出を求める。

※健康チェックシートは大会開催当日に提出を求める、適合者は参加させない

なお、体温の検温にあたっては、37.5°C以上の者は入館を断り、選手の場合は出場させない。

### 2. 感染対策用品の準備

① 手指消毒液 2台

② 除菌シート 100枚入り 2セット

③ アルコール消毒液 2本

④ 吹き上げPAPER 100枚

⑤ ビニール製手袋 100枚

⑥ 非接触体温計 4台

# 試合当日の準備

8:00 役員集合（学連学生委員）・会場校補助運営委員  
会場設営

## ①大会本部の設営

テーブル・椅子の配置と除菌

## ②体育館入口受付の設営

手指消毒設置 担当者1名配置

非接触体温計の設置 担当者2名配置

健康チェックシート受理 担当者1名配置

※声をかけて手指消毒を促し、非接触体温計での検温で  
37.5°C以上の方は入館を認めない。

## 体育館フロアの準備

### ①ベンチ座席の配置と除菌

### ②テーブルオフィシャル機器の設営

### ③テーブルオフィシャルズ席（テーブル・椅子）の除菌

### ④得点板席の設営と除菌

## 審判員控室の準備

### ①テーブルと椅子の設営と除菌

# 実施計画 試合当日の体制

---

## 試合当日の体制

### 役員体制

1.会場責任者	1名
2.感染症対策責任者	1名
3.受付対応責任者	1名
4.競技責任者	1名
5.審判員対応責任者	1名

### 役員の役割

1.受付担当（検温・手指消毒）	2名
2.チーム対応担当	2名
3.感染症対策除菌担当	2名
4.審判員対応担当	1名

## 受付体制

### 1.受付担当者 2名 〈試合開始前、8時30分から試合終了まで〉

常時 1名が非接触体温計で体温を測定する

常時 1名が手指消毒を促す

### 2.チーム対応担当 1名

参加チームの受付を担当し、健康チェックシートを受け付け、  
体調不良者がいないか確認する。

### 3.感染症対策除菌担当 2名

体育館内のコート周辺の除菌を担当する。

- ①試合準備の段階 ②第1試合終了後 ③第2試合終了後
- ④第3試合終了後 ⑤最終試合終了後

### 4.審判員対応担当 1名

審判員の受付とともに、健康チェックシートを受理する。

体調不良者がいないか確認する。

### 5.役員（大会役員・学連学生委員・会場校補助運営委員）への対応

体調管理と健康チェックシートの確認

# 試合中の対応・衛生管理の徹底・室内環境の管理の徹底

## 試合中の対応（会場の監視）

会場責任者と感染症対策責任者が試合中3密の状態となっていないか、試合中の動向を見守り、点検し、会場の監視を行う。

- ・密接な状態になっていないか
- ・密集な状態の確認
- ・声による応援を禁止し、飛沫感染防止の観点から指導者の指示、激励を制限する。

## 衛生管理の徹底

- ・マスク着用の確認（練習や会場への移動時にマスク着用の徹底）
- ・咳エチケット、手洗い、手指消毒、うがいの実施の確認

## 室内環境の管理の徹底

- ・3密（密閉・密集・密接）を回避することの徹底
- ・室内換気（扉と窓の開放）の徹底
- ・対人距離は最低1m以上確保することの徹底
- ・Meetingを開催する際に、密集、密接を回避する方策をとっているかの確認
- ・施設使用後の使用備品（机・椅子・扉ノブ等）の消毒実施の徹底  
(1試合終了後に実施し、最終試合終了後にも実施する)
- ・飲料の回し飲み、ボトルの共用を禁止
- ・体育館付設の冷水機、製氷機は使用させない
- ・施設内での食事は、禁止もしくは指定された場所に限定する  
(試合前後の栄養補給のための補助食品は可)

# 試合終了後の対応と更衣室使用上の留意点の周知徹底

---

## 第1試合～第3試合終了後の対応

- ①ベンチ座席の除菌
- ②テーブルオフィシャルズ席（テーブル・椅子）の除菌
- ③得点板席の除菌
- ④会場の換気

## 最終試合終了後の対応

- ・ベンチ座席の除菌
- ・テーブルオフィシャルズ席（テーブル・椅子）の除菌
- ・得点板席の除菌

## 更衣室の使用についての留意事項の周知徹底

- ・更衣室の使用にあたっては、密集を避け交代で使用させる。  
おおよそ5人を単位とし、更衣室を利用させる
- ・密集を避け、会話は慎むよう注意喚起する。

# 罹患者や濃厚接触者が生じた場合の措置

## (1) チーム内に罹患者や濃厚接触者が生じた場合

### ①練習に参加している学生・スタッフが罹患した（陽性となった）場合

- ・ 罹患した者は原則としてPCR検査で陰性が確認されるまで出場停止（ただし、保健所が追加のPCR検査を実施しないと判断した場合には、保健所の自宅待機指示期間までの出場停止とする）
- ・ 同チームに所属する者が濃厚接触者とみなされる場合は、試合への参加は保健所の指示や各チーム所属の大学のルールによる。

### ②練習に参加している学生・スタッフが濃厚接触者とされた場合

- ・ 濃厚接触者とされた者は各チーム所属の大学のルールにより、活動停止期間は試合の参加や出場を見送る。

### ③罹患した学生の所属するチームと対戦した場合

- ・ 濃厚接触者とみなされる場合は保健所の指示に従い、試合への参加は各チーム所属の大学のルールによる。健康観察（体温測定、体調管理）を毎日行う。

### ④学連委員、審判に関しては、JBAのガイドラインおよび選手・スタッフの対応に準じて判断する。

\* 濃厚接触とは、マスクなど飛沫感染防止の策をとらずに15分以上1m程度の距離で対面（同席）した場合を想定する。 \* 罹患者や濃厚接触者が発生した場合の対応について、所属大学が独自に設定しているルールがある場合には、所属大学設定ルールにしたがって対応する。

## (2) 国・自治体、大学のルールとの関係・本ガイドラインと国・自治体、大学のルールとを比較し、厳しい項目を適用する。保健所の指示を最優先し、所属大学の指示に従う。

※試合終了後に感染の疑いが生じた際には、必ず主催者である関西女子学連に連絡させ、緊急連絡体制により処置を講じる。保健所への連絡、相談により対応する。